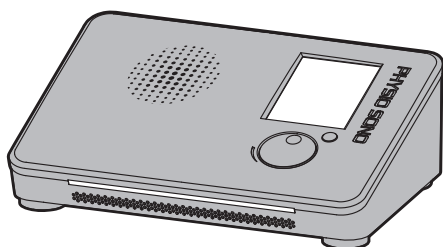


保証書付

一般的名称：超音波治療器
JNDNコード：11248000
管理医療機器／特定保守管理医療機器
医療機器認証番号：230ALBZX00001000



PHYSIO SONO

フィジオ ソノ 超音波治療器 P-SONO

取扱説明書

目次

ご使用の前に

安全上の注意	1
仕様	9
付属品一覧	11
各部の名称	13

使い方

設置および配線	21
バッテリーでの使用	24
使用方法	25
フィジオアクティブHVとの使用方法	33
本体設定	35
その他の機能	37

お知らせ

手入れと管理	41
故障かな?と思ったら	43
EMCについて	45
静電気予防手順	49




○保証書

ご使用の前に、必ずお読みください。

安全上の注意




本治療器（本体、付属品および梱包材）には、お使いになる方と周りの方への危害、財産への損害を未然に防止するための図記号を表示しています。以下の内容をご理解いただいたうえで本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

危険、警告、注意について

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が高い」内容です。
 警告	「人が死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	「人が障害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。

※物的損害とは、家屋、家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号について

	△絵記号は（警告・危険を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は、“特定しない一般的な注意、警告、危険”を示します。
	⊘記号は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は、“分解禁止”を示します。
	●記号は強制（必ず守ること）を示します。具体的な強制内容は●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は“特定しない一般的な使用者の行為”を示します。

本治療器の図記号について

	<p>操作説明参照</p>
<p>取扱説明書に従うことを示します。</p>	
	<p>BF 形装着部</p>
<p>電撃に対する保護の程度が BF 形装着部であることを示します。</p>	
	<p>ESD 警告</p>
<p>ESD(静電気放電) に敏感な部分であることを示します。この図記号があるコネクタのコネクタピンには触れないようにしてください。</p>	
	<p>クラス II 機器</p>
<p>電撃に対する保護の形式がクラス II 機器であることを示します。</p>	
	<p>直射日光遮へい</p>
<p>この図記号を表記している付属品を直射日光から遮へいしなければならないことを示します。</p>	
	<p>温度制限</p>
<p>この図記号を表記している付属品の温度制限を示します。</p>	
	<p>使用期限</p>
<p>ECOジェルの使用期限を示します。</p>	
	<p>プラスチック製容器包装マーク</p>
<p>そのプラスチック包装がリサイクル可能であることを示します。</p>	
	<p>CE マーク</p>
<p>該当する欧州指令に適合していることを示します。</p>	



リサイクルマーク

そのダンボールがリサイクル可能であることを示します。



取扱注意

ダンボールに衝撃を与えないように丁寧に扱うことを示します。



水濡禁止

水に濡れないようにダンボールを保護して扱うことを示します。



天地無用

ダンボールを逆さまにしたり横にして積まないよう扱うことを示します。

⚠ 危険



医用電気機器の作動に妨害を与える恐れがありますので、下記に示す機器との併用はしないでください。

- ・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
- ・人工心肺などの生命維持用医用電気機器
- ・心電計などの装着形の医用電気機器
- ・その他の医用電気機器

本治療器は「超音波の熱および非熱生理学的反応による疼痛の緩解、微小マッサージ作用、筋肉痛および関節痛の軽減」を目的とした超音波治療器です。それ以外の目的には使用しないでください。

⚠ 警告



下記のような方へは使用しないでください。



- ・妊産婦および妊娠の可能性のある方
- ・適用部位およびその周囲の皮膚に損傷、炎症、その他異常のある方
- ・紫斑病など、内出血しやすい方
- ・悪性腫瘍のある方
- ・心臓に障害のある方
- ・知覚障害のある方
- ・金属アレルギーのある方
- ・その他医師が不相当と判断した方

医師もしくは医師などから指示を受けた方以外は使用しないでください。重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。

付属品のACアダプタ、電源コードおよびプローブ以外は接続しないでください。また他の製品に流用しないでください。重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。


電気メス(電気手術器)と併用しないでください。火傷を負ったり、本治療器に損傷を与える恐れがあります。

警告


	<p>短波治療器やマイクロ波治療器など、電磁波を発生する機器の近くでは使用しないでください。重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>
	<p>胸部付近には使用しないでください。 心細動の誘発など、心臓に重大な事故やトラブルを起こす恐れがあります。</p>
	<p>異物を本体内部に入れないでください。故障や誤作動の原因となり、重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>
	<p>この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格が異なるため海外では使用できません。 This product designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.</p>
	<p>水やジェルなどで濡れた手での操作はやめてください。 感電することがあり非常に危険です。</p>
	<p>分解や改造、部品の交換などをしないでください。故障や誤作動の原因となり、重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>
	<p>下記に該当する場合はただちに使用を中止し、販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・本治療器の作動が、通常の作動と異なるとき 内部あるいはプローブなどに故障の可能性があります。・本治療器が異常に発熱したり、発煙や異臭が発生したとき 内部に深刻な故障があります。・本治療器の外観に変形や破損、ネジのゆるみなどが発見されたとき 正常に作動していても、故障の可能性があります。・本治療器に外部からの衝撃が加えられたとき 外部に異常が無くても、内部が破損している可能性があります。
	<p>地震、雷、停電のときは、ただちに電源コードをコンセントから抜いて、本治療器の操作スイッチや表示に異常がないか確認してください。故障や誤作動の原因となり、重大な事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>

注意


使用場所

	<p>火のそばや水がかかるような場所では使用しないでください。 火災、感電および製品の故障につながる恐れがあります。</p>
	<p>ほこりがたまりやすい場所では使用しないでください。 火災や製品の故障につながる恐れがあります。</p>
	<p>直射日光が当たる場所では使用しないでください。 製品が劣化し、故障につながる恐れがあります。</p>
	<p>塩分、イオウ分などを含んだ空気がある場所では使用しないでください。 製品が劣化し、故障につながる恐れがあります。</p>
	<p>傾斜や振動のある場所、他の機器と接触するような場所では使用しないでください。重大な事故や製品の故障につながる恐れがあります。</p>
	<p>通風孔をふさいだ状態で使用しないでください。火災や製品の故障につながる恐れがあります。</p>

使用場所




	<p>気圧、温度、湿度に注意して使用してください。 感電や製品の劣化による故障につながる恐れがあります。</p>
	<p>電源の周波数、電圧および許容電流値を確認したうえで使用してください。 誤った場合、火災や製品の故障の原因になります。</p>

ご使用前の準備

	<p>操作類、表示類などが正常に機能することを確認してください。</p>
	<p>プローブに汚れや異常がないか確認してください。 過度の刺激を受けたり、火傷を負う恐れがあります。</p>
	<p>プローブが本体に正しく接続されていることを確認してください。</p>
	<p>治療中、過度の刺激や熱さを感じた場合あるいは体調不良や不快感があった場合には申し出るよう、患者に伝えてください。</p>
	<p>本治療器は機能接地が必要です。接地端子のある3極電源コンセントを使用してください。誤った場合、重大な事故や製品の故障につながる恐れがあります。</p>

注意

ご使用中

	治療中にプローブ、ACアダプタおよび電源コードの抜き差しをしないでください。過度の刺激を受ける恐れがあります。
	プローブのヘッドにジェルを塗布し、治療部位に超音波プローブがしっかりと接触していることを確認してください。 ジェルを塗らないと、思わぬ刺激を受ける恐れがあります。
	治療中はプローブにネックレスなどの装飾品の金属が触れないようにしてください。過度の刺激を受ける恐れがあります。
	出力を上げるときは、ゆっくり上げてください。 急激に上げると過度の刺激を受ける恐れがあります。
	出力中はプローブを放置しないでください。 プローブのヘッド部分が高温になり火傷などを起こす恐れがあります。
	プローブを強く引っ張らないでください。断線の恐れがあります。
	プローブを動かすときは本体を一緒に引っ張らないようにしてください。本体を机の上などから落下させ、強い衝撃が加わると故障につながる恐れがあります。
	治療中は常に患者の状態に注意を払い、患者が体調不良や不快感を訴えた場合あるいは患者に異常が見られた場合は、ただちに使用を中止してください。
	治療中や電源を入れた状態で持ち運びしないでください。
<h3>ご使用後</h3>	
	プローブ、ACアダプタおよび電源コードは必要以上の抜き差しをしないでください。劣化を早めます。
	プローブ、ACアダプタおよび電源コードの取り外しの際、コード部分を持って引き抜くなどの無理な力をかけないでください。断線する恐れがあります。

注意

手入れと管理



付属品は常に清潔に保ち、整理して保管してください。

本治療器は使用の都度、必ず清掃してください。

本治療器は、必ず定期点検を行ってください。

プローブ、ACアダプタおよび電源コードが劣化し傷んでいる場合は交換してください。重大な事故や製品の故障につながる恐れがあります。

本治療器をしばらく使用しなかったときは、使用する前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。

電源コードをコンセントに長時間差し込んだままにしないでください。
トラッキング現象により火災につながる恐れがあります。

仕様

■種類

電撃に対する保護の形式	クラスⅡ機器、内部電源機器
電撃に対する保護の程度	BF形装着部

■電氣的定格

項目	クラスⅡ機器	内部電源機器
電源電圧	AC100V	DC14.4V
電源周波数	50/60Hz	—
電源入力	95VA	40VA
電池容量	—	3000mAh

■機能・性能

項目		仕様	
音響作用周波数	超音波プローブ		1.1MHz±10%
			3.3MHz±10%
	超音波プローブ (平型固定タイプ)		1.1MHz±10%
			3.3MHz±10%
最大超音波出力	1.1MHz	超音波プローブ	連続 8.20W±20%
			パルス 6.15W±20%
		超音波プローブ (平型固定タイプ)	連続 4.00W±20%
			パルス 3.00W±20%
	3.3MHz	超音波プローブ	連続 7.20W±20%
			パルス 5.40W±20%
		超音波プローブ (平型固定タイプ)	連続 3.00W±20%
			パルス 2.25W±20%
最大有効強度	1.1MHz	超音波プローブ	連続 2.0W/cm ² ±20%
			パルス 1.5W/cm ² ±20%(平均)
		超音波プローブ (平型固定タイプ)	連続 2.0W/cm ² ±20%
			パルス 1.5W/cm ² ±20%(平均)
	3.3MHz	超音波プローブ	連続 2.0W/cm ² ±20%
			パルス 1.5W/cm ² ±20%(平均)
		超音波プローブ (平型固定タイプ)	連続 2.0W/cm ² ±20%
			パルス 1.5W/cm ² ±20%(平均)

項目		仕様	
有効放射面積	超音波プローブ	1.1MHz	4.1cm ² ±30%
		3.3MHz	3.6cm ² ±30%
	超音波プローブ (平型固定タイプ)	1.1MHz	2.0cm ² ±30%
		3.3MHz	1.5cm ² ±30%
ビーム不均等率	1.1MHz	超音波プローブ	2.7±30%
		超音波プローブ (平型固定タイプ)	1.8±30%
	3.3MHz	超音波プローブ	2.4±30%
		超音波プローブ (平型固定タイプ)	2.6±30%
出力安定性		初期値 ±20%	
治療タイマ		1分～30分	

■寸法・重量

寸法 250W×170D×88H(mm)
重量 2.1kg±10%

■使用環境条件

温度 10～40℃
湿度 30～75%rh
気圧 700～1060hPa

■安全装置

ゼロスタート方式、ストップスイッチ、プローブ非接触検出

■基本性能

音響作用周波数、超音波出力、有効強度、出力安定性、ビーム不均等率、治療タイマ

■水の侵入に対する保護等級

本体 IPX0
プローブ IPX7

■適合規格

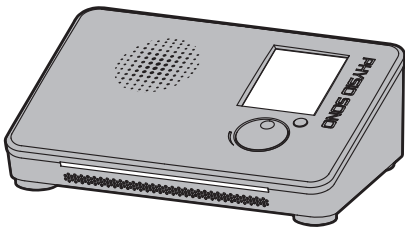
JIS T 0601-2-5 : 2005、JIS T 0601-1-2 : 2012

付属品一覧

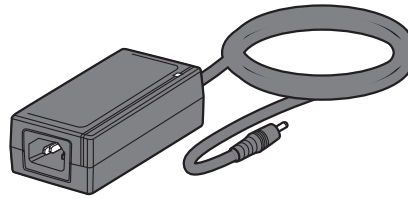
本治療器の構成は以下のとおりです。すべてそろっているか必ずご確認ください。万一、付属品が不足していたり、破損していたりしている場合は、販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。

■標準付属品

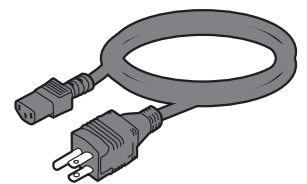
本体



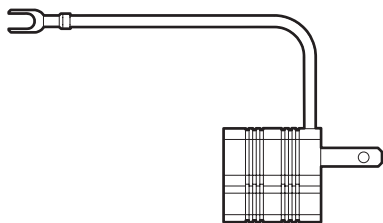
フィジオソノ
ACアダプタ



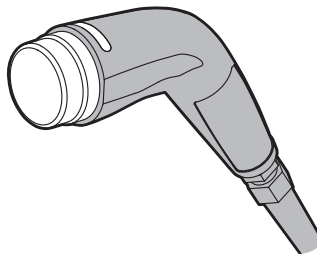
フィジオソノ
電源コードNF型



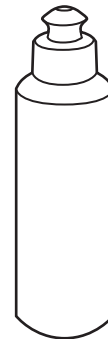
2P-3P変換プラグ



フィジオソノ
超音波プローブ



ECOジェル260mL



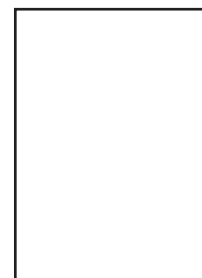
添付文書



取扱説明書(保証書付)



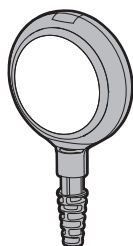
標準同梱品リスト



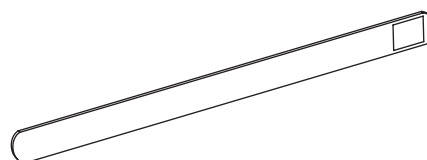
■オプション品

以下の付属品はオプション品です。販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。

フィジオソノ
超音波プローブ(平型固定タイプ)



フィジオソノ
固定ベルト1.2m標準幅



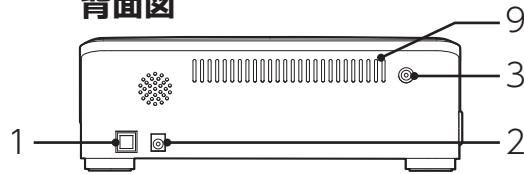
略語・記号

略語・記号	説明	記載箇所
min	minuteの略です。分を表します。	通常操作画面
sec	secondの略です。秒を表します。	
GEL	超音波ジェルモードの略です。	通常操作画面
IPM	Iontophoresis Modeの略です。	本体設定画面

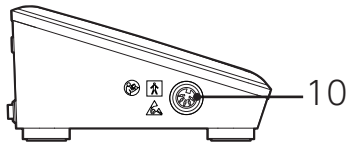
各部の名称

■本体

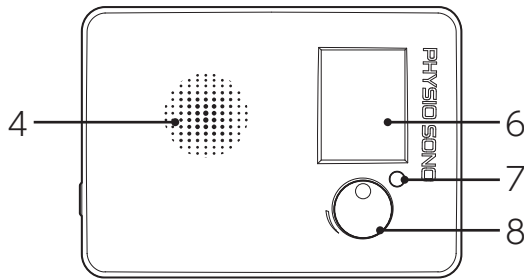
背面図



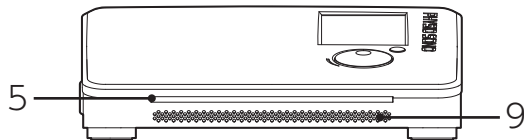
左側面図



上面図

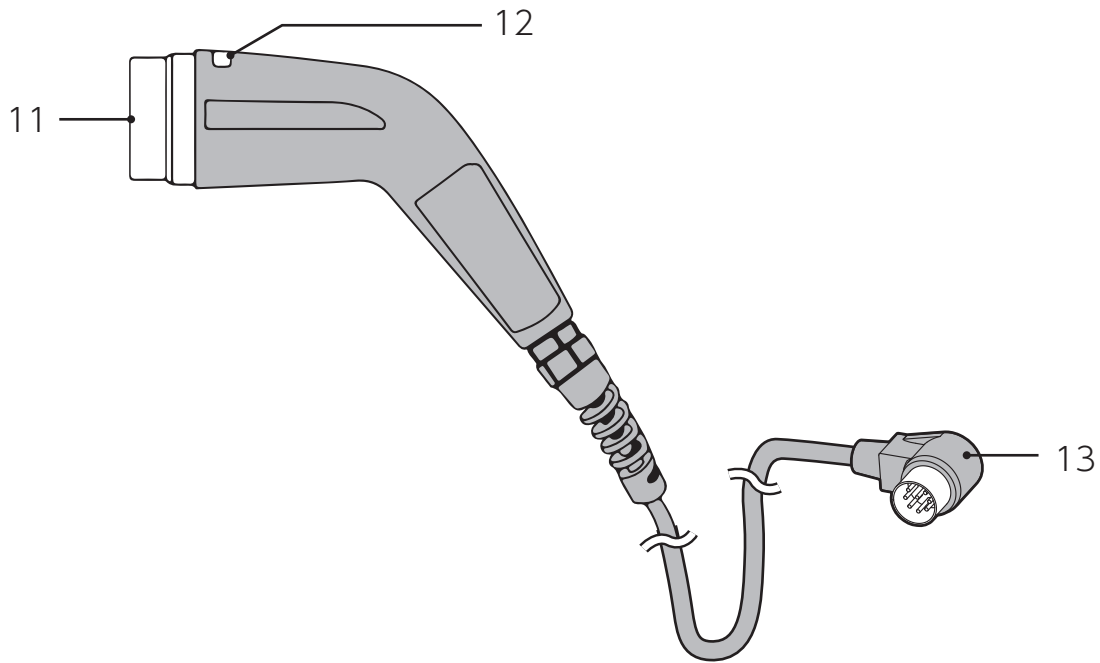


正面図



No.	名称	説明
1	電源スイッチ	本体の電源を入/切します。
2	DCジャック	ACアダプタのDCプラグを接続します。
3	TENS入力コネクタ	組み合わせて使用することができるフィジオアクティブHVの導子コードを接続します。 33ページ「フィジオアクティブHVとの使用方法」参照
4	メイン状態ランプ	本体の状態をお知らせします。
5	サブ状態ランプ	39ページ「状態ランプ」参照
6	液晶表示部	設定および状態を表示します。タッチパネルの操作をします。
7	ストップスイッチ	超音波の出力をただちに停止します。
8	出力レベル調節つまみ	出力レベルの調節や治療時間、プログラム設定を設定します。
9	通風孔	本体内部の熱を放出する通風孔です。
10	超音波出力コネクタ	プローブを接続します。

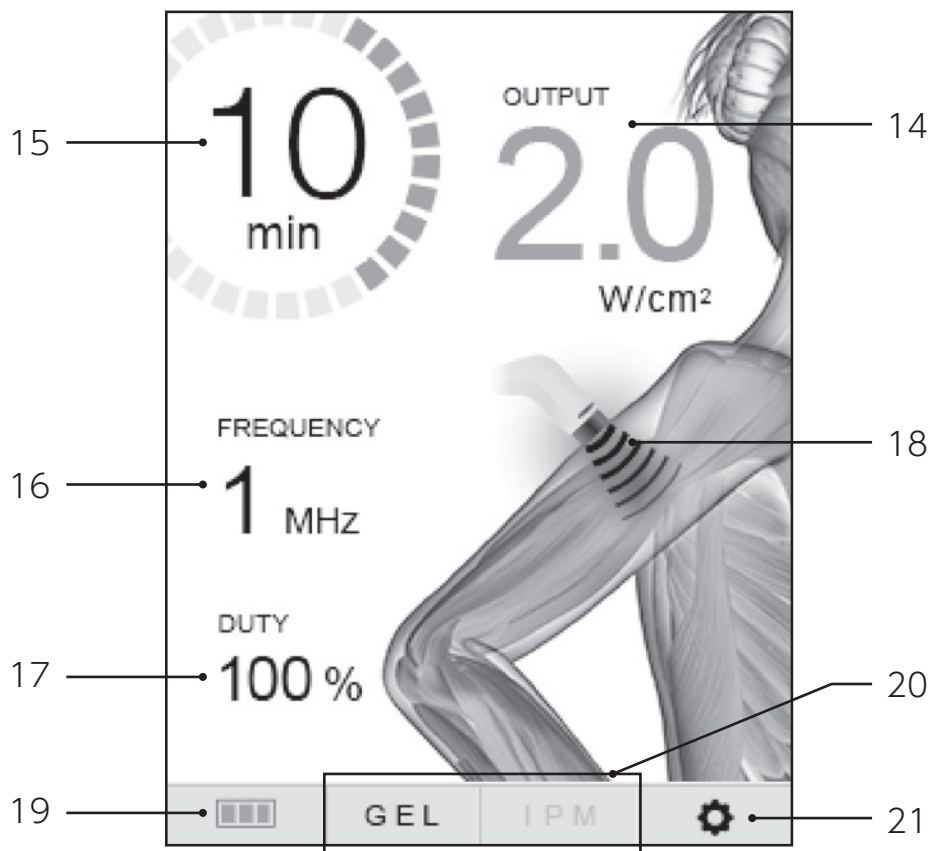
■超音波プローブ




No.	名称	説明
11	ヘッド	超音波を出力します。
12	プローブ状態ランプ	出力中に点灯します。 39ページ「状態ランプ」参照
13	プローブコネクタ	本体の超音波出力コネクタへ接続します。

各部の名称 (続き)

■液晶表示部 通常画面

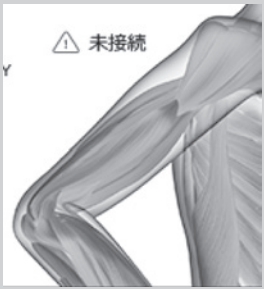





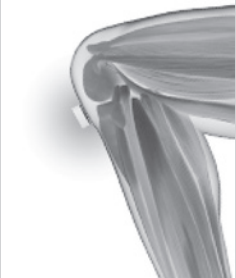

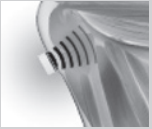






No.	名称	説明
14	出力レベル表示	出力レベルを表示します。
15	タイマ表示	治療時間を設定します。(16ページ参照)
16	周波数表示	周波数を設定します。(16ページ参照)
17	DUTY表示	DUTYを設定します。(16ページ参照)
18	出力イメージ表示	出力の状態を表示します。(16ページ参照)
19	電池表示	電池残量を表示します。 24ページ「電池残量」参照
20	オートコンタクト表示	GEL:負荷検知度=低 IPM※:負荷検知度=高 ※Iontophoresis Mode 28ページ「オートコンタクトの選択」参照
21	本体設定表示	本体設定画面を表示します。

名称	表示	説明
タイマ表示 (分表示)		<p>治療時間が 30~1 分のときの表示です。</p> <p>選択中は数値を青色表示します。</p> <p>出力中はタイマ表示の選択および治療時間の設定はできません。</p>
タイマ表示 (秒表示)		<p>治療時間が 59~0 秒のときの表示です。</p> <p>出力中はタイマ表示の選択および治療時間の設定はできません。</p>
周波数表示		<p>1MHz、3MHz、1 & 3MHz の表示です。</p> <p>選択中は青色表示します。</p>
DUTY表示		<p>5%、10~50%まで 10%単位ずつ、100%を表示します。</p> <p>選択中は青色表示します。</p>

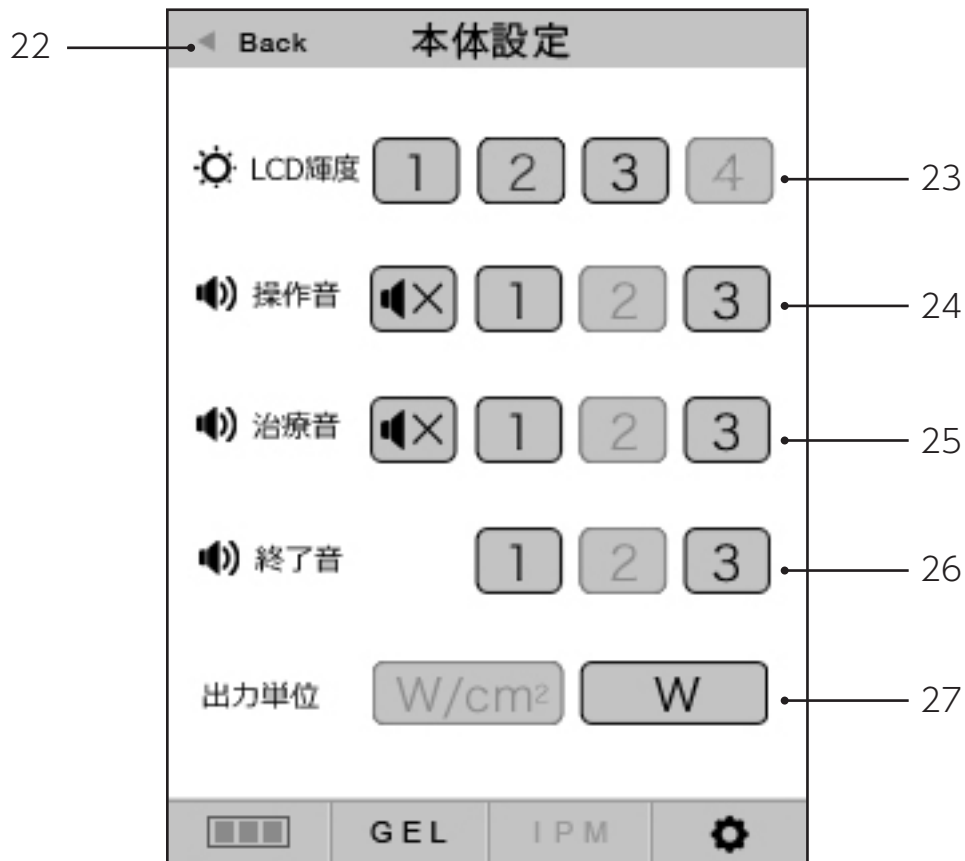
各部の名称 (続き)

表示部	表示	説明
出力表示	 <p>レベル0 中間レベル 最大レベル</p>	DUTY100%(連続)に設定時の出力表示(最大有効強度)です。選択中は数値を青色表示します。
	 <p>レベル0 中間レベル 最大レベル</p>	DUTY100%(連続)以外に設定時の出力表示(瞬間最大強度)です。選択中は数値を青色表示します。

超音波出力の状態	超音波プローブ	超音波プローブ(平型固定タイプ)	説明
未接続状態			プローブ未接続時の表示です。
出力不可状態			プローブから超音波を出力できないときの表示です。
プローブ状態の確認中			超音波出力コネクタに接続したプローブ状態の確認中の表示です。
待機状態			超音波の出力を開始できるときの表示です。
出力状態	1MHz 		超音波の出力時の表示です。
	3MHz 		
	1&3MHz 		

各部の名称 (続き)

■液晶表示部 本体設定画面



No.	名 称	説 明
22	通常画面表示	通常画面を表示します。
23	LCD輝度表示	液晶表示部の輝度を設定します。
24	操作音量選択表示	治療音、終了音以外の音量を設定します。
25	治療音量選択表示	治療音の音量を設定します。
26	終了音量選択表示	終了音の音量を設定します。
27	出力単位選択表示	出力レベル表示の単位を設定します。

名称	表示	説明
LCD輝度表示		数字が小さいほど画面が暗くなり、数字が大きいほど画面が明るくなります。選択している輝度は青色表示します。
操作音 治療音		数字が小さいほど音量が小さくなり、数字が大きいほど音量が大きくなります。選択している音量は青色表示します。
終了音		数字が小さいほど音量が小さくなり、数字が大きいほど音量が大きくなります。選択している音量は青色表示します。
出力単位		超音波の出力レベル表示の単位を設定します。選択している単位は青色表示します。

設置および配線

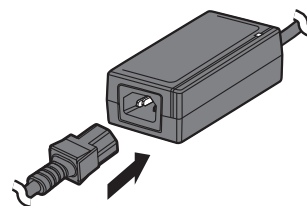
■本体設置について

- ・ 水のかかるような場所には設置しないでください。
- ・ 気圧、温度、湿度に注意して設置してください。
- ・ ほこりがたまりやすい場所には設置しないでください。
- ・ 直射日光が当たる場所には設置しないでください。
- ・ 塩分、イオウ分などを含んだ空気がある場所には設置しないでください。
- ・ 傾斜や振動のある場所、他の機器と接触するような場所には設置しないでください。
- ・ 電源の周波数、電圧および許容電流値を確認したうえで設置してください。

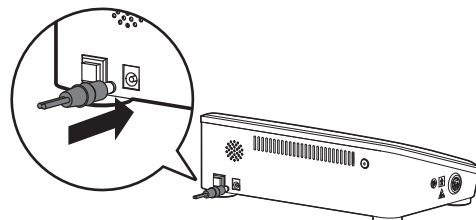
■電源配線について

付属の AC アダプタと電源コード以外は接続しないでください。接続の際はしっかりと奥まで差し込んでください。

1 電源コードとACアダプタを接続する

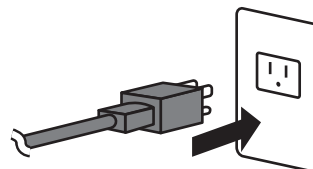


2 ACアダプタのDCプラグを本体のDCジャックに差し込む



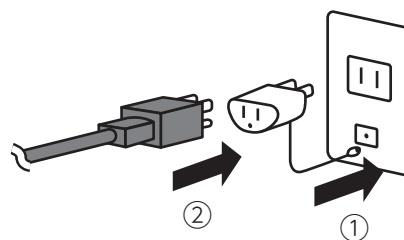
3 電源コードのACプラグをコンセントに差し込む

電撃の危険を回避するために、必ず接地端子のある 3 極電源コンセントにしっかりと奥まで差し込んでください。



3極電源コンセントではない場合

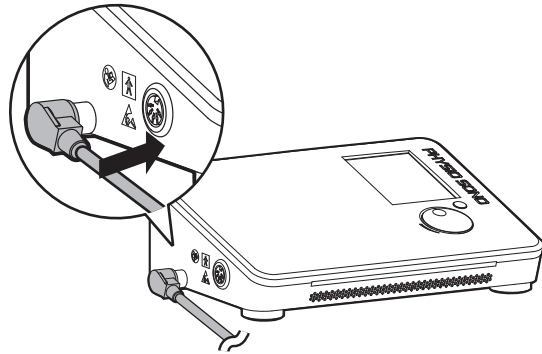
- ① 付属の 2P-3P 変換プラグのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。
- ② 電源コードに 2P-3P 変換プラグを接続してコンセントに接続してください。



■プローブについて

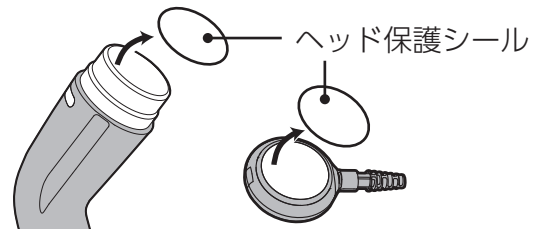
1 プローブを接続する

本体の超音波出力コネクタにプローブのコネクタを接続します。



2 ヘッド保護シールをはがす

超音波プローブのヘッド保護シールは、必ずはがしてからお使いください。



3 プローブの設置

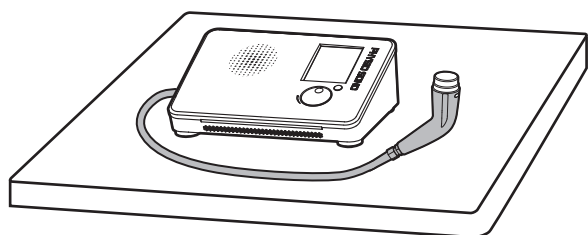
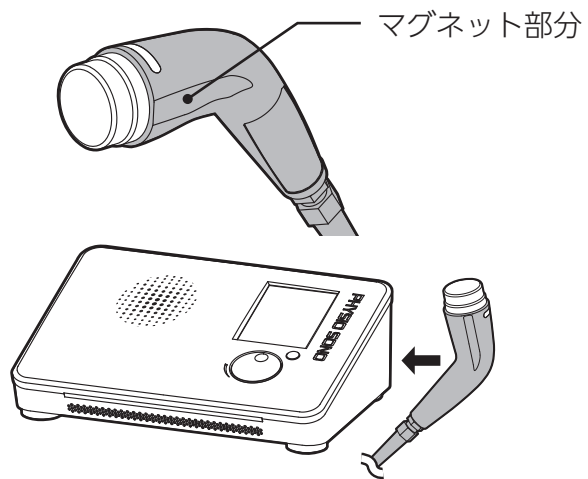
超音波プローブの左右側面はマグネットが組み込まれています。

マグネット部分は本体側面や背面などに設置して使用することができます。

※超音波プローブ(平型固定タイプ)はマグネットによる設置はできません。

マグネット部分の設置状態によっては本体から超音波プローブが外れ、机の上などから落下する恐れがあります。

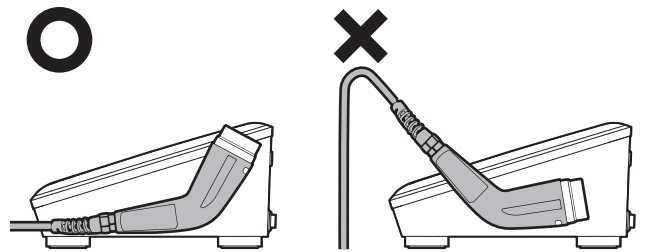
本体から超音波プローブが外れても机の上から落下しないように十分にスペースを開けて設置してください。



設置および配線 (続き)

超音波プローブを本体に設置させる際は、コードが机の上などと水平になるように設置してください。

コードが上に飛び出ていると、超音波プローブやコードに手などが当たって机の上などから落下する恐れがあります。



注意

プローブの破損修理は使用者による過失(落下など)の場合は保証期間内(1年未満)でも保証対象外となります。あらかじめご了承ください。

バッテリーでの使用

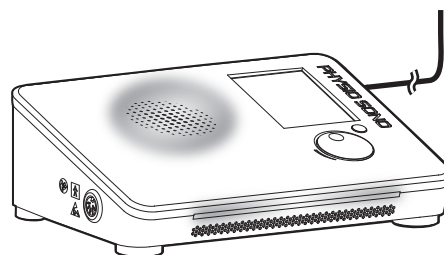
本体は、内部電源（リチウムイオン電池）を備えているので、ACアダプタに接続されていないときは、内蔵電池を電源として使用できます。

■充電のしかた

本体と電源コード、ACアダプタを接続し、コンセントへ接続してください。

充電しながら出力することができます。

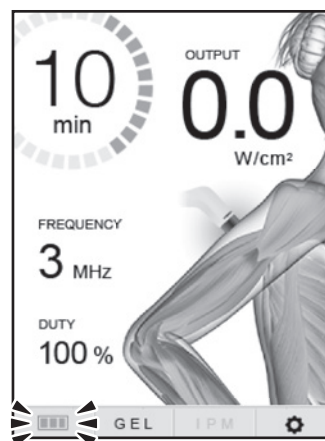
21ページ「電源配線について」参照



電源を入れると電池表示が点滅して充電中であることをお知らせします。充電が終了すると電池表示は点灯します。

充電中は状態ランプおよびサブ状態ランプが青色に点灯します。

ボタンを押しても反応しない状態から使用するときは、約60分の充電が必要です。周波数3MHz、DUTY100%、出力レベル2.0W/cm²で使用した場合、約30分使用できます。








使い方

■電池残量

電池表示で電池残量を確認することができます。

※リチウムイオン電池は消耗品です。十分に充電しても使用時間が短いときはリチウムイオン電池の寿命です。

※リチウムイオン電池の交換は必ず販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡して交換してください。

電池表示	状態
 点滅	充電中です。
 点灯	十分あります。
 点灯	まだあります。
 点灯	少なくなりました。充電してください。
 点滅	充電してください。※出力できません。

使用方法

1 電源を入れる

電源スイッチを押すと、本体が起動し、液晶表示部に3秒間イニシャル表示が表示されます。

電源コードおよび AC アダプタを接続していないときは、電源を入れて10分以上操作しないと、自動的に電源が切れますが故障ではありません。治療を行う場合は再度、電源を入れてください。

40ページ「オートパワーオフ」参照

プローブを接続している場合は、プローブ状態の確認を行います。(「2 プローブ状態の確認」参照)



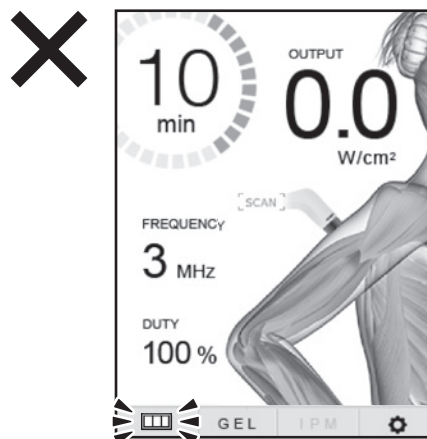
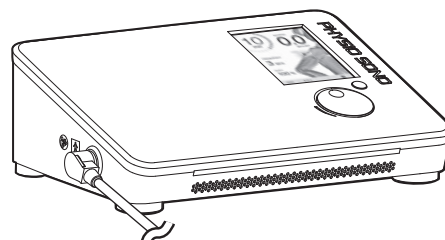
2 プローブ状態の確認

プローブを接続すると本体が自動でプローブ状態の確認を行います。確認は数秒で終了します。

ただし、充電がなくなり、電池表示が点滅している場合はプローブ状態を確認できません。電源コードおよび AC アダプタを接続して充電してください。

24ページ「充電のしかた」参照

※プローブ状態の確認中は出力することができません。

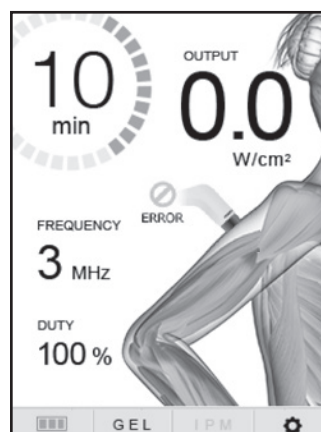


⚠ 注意

プローブのヘッド部分が常温であることを確認し、ヘッド部分を必ず空中に放置した状態にしてください。ジェルが残っていたり、肌に接触していたり、保護シールが貼り付いたままだと、正しい識別ができません。

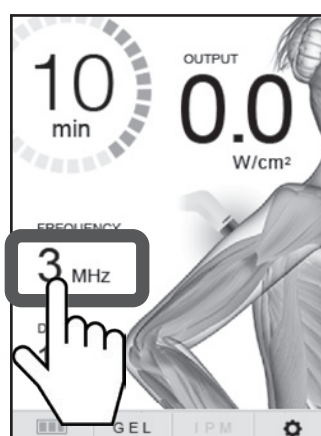


プローブ状態を確認できなかった場合は、出力不可状態を表示します。プローブのヘッド部分に何もついていないことを確認し、空中に放置した状態にしてからもう一度プローブのコネクタを差し込んでください。



3 周波数の選択

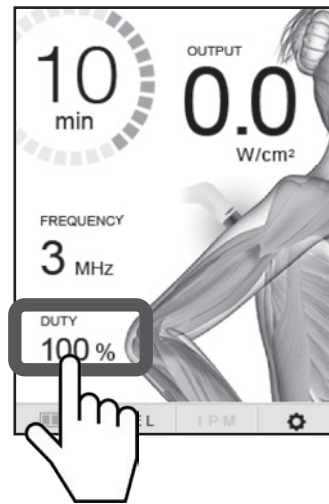
周波数表示をタップするごとに周波数が切り替わります。周波数は、1MHz、3MHz、1&3MHz から選択することができます。1&3MHz は、1MHz→3MHz→1MHz→……の順で周波数を自動で切り替えて出力します。



使用方法 (続き)

4 DUTYの選択

DUTY 表示をタップします。数値が青く表示され、DUTY 表示が選択されます。
DUTY 表示を選択した状態で出力レベル調節ツマミを回すことでDUTY を設定します。
DUTY は 5%、10%、20%、30%、40%、50%、100%から選択することができます。



DUTY の出カイメージは下図のとおりです。

DUTY20%



DUTY50%

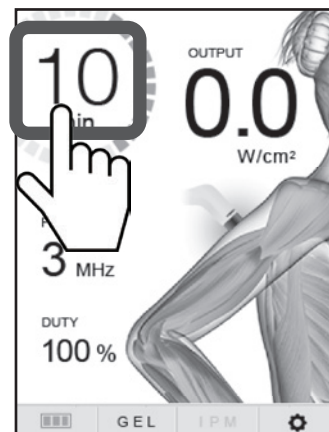


DUTY100%(連続)



5 治療時間の選択

タイマ表示をタップします。数値が青く表示され、タイマ表示が選択されます。
タイマ表示を選択した状態で出力レベル調節ツマミを回すことで治療時間を設定します。
治療時間は 1~30 分の範囲を 1 分単位で選択することができます。



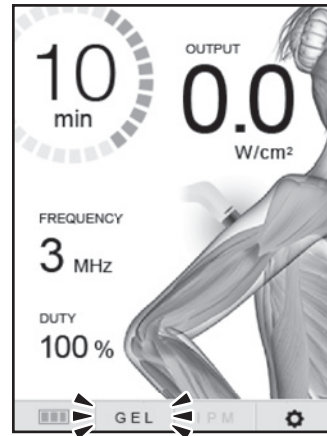
6 オートコンタクトの選択

超音波プローブのヘッドが肌に接触しているかどうかを検出します。

オートコンタクト表示の GEL か IPM をタップすることでモードが切替わります。

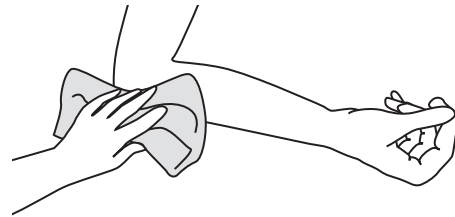
付属のジェルをご使用の際は GEL モードを選択してください。

※オートコンタクトによりプローブ非接触検出が頻繁に起こるときは、IPM モードを選択してください。



7 治療部位に異常がないか確認する

治療部位やその周囲に異常がないか確認してください。汚れなどがある場合は、タオルなどでよく拭き取ってください。



使用方法 (続き)

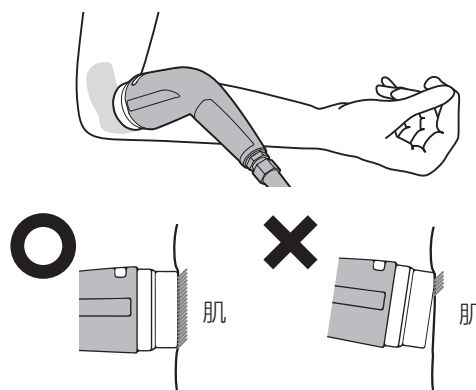
8 プローブのヘッドにジェルを塗布して治療部位に当てる

ジェルを塗らないと、思わぬ刺激を受けるなどの原因となります。



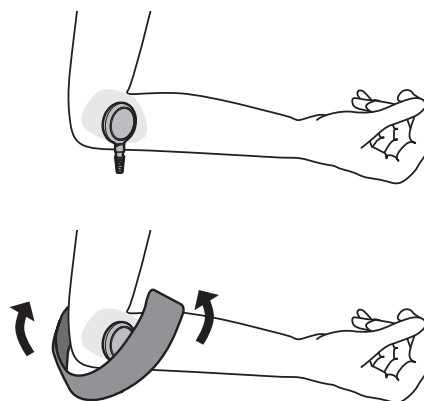
超音波プローブ

治療部位にヘッドのジェルを伸ばしながらプローブを当てます。
ヘッドは肌に対して垂直に当ててください。



超音波プローブ (平型固定タイプ)

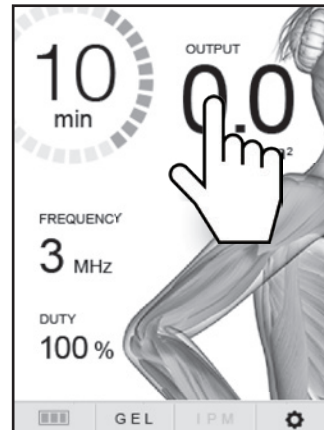
1. 治療部位にヘッドのジェルを伸ばしながらプローブを当てます。
ヘッドは肌に対して垂直に当ててください。
2. 固定ベルトで超音波プローブ (平型固定タイプ) をしっかりと固定します。



9 出力レベルの調節

出力レベル表示をタップします。出力レベル表示が青く表示され、出力レベルが選択されます。

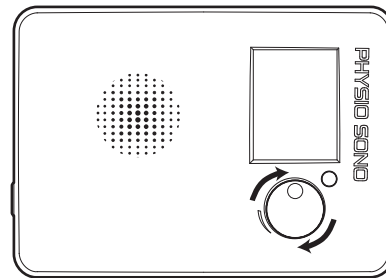
※プローブ状態の確認中は出力レベルを選択することができません。



出力レベルを選択した状態で出力レベル調節つまみを回して出力を調節します。出力レベルは DUTY100%設定時は 20 段階、DUTY100%以外設定時は 30 段階の範囲を 0.1W/cm² 単位で設定できます。

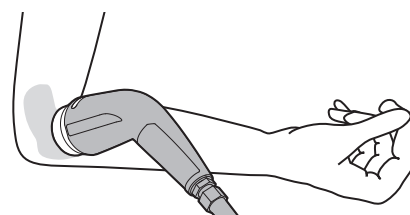
※超音波プローブは 1.0W/cm² から出力開始します。

※超音波プローブ(平型固定タイプ)は 0.1W/cm² から出力開始します。



プローブのヘッドが治療部位に接触しているときにタイマがカウントダウンします。

※出力中に超音波プローブを治療部位に接触させる場合は必ず超音波プローブのヘッドの温度が高くないことを確認してから、治療部位に接触させてください。



使用方法 (続き)

注意

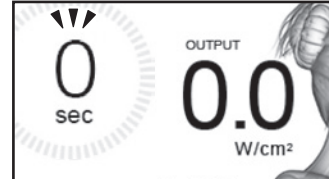
- 温度の感じ方には個人差があります。患者が苦痛を感じない範囲で出力レベルを調節してください。
- 出力中にプローブを放置した場合、プローブのヘッド部分が高温になることがあります。プローブを治療部位に接触させる際、必ずプローブのヘッド部分の温度を確認してください。
- 超音波の治療による火傷は、プローブの皮膚への接触が不完全な場合に発生します。プローブは確実に接触するようにしてください。
- 超音波の治療は、火傷の恐れもありますので、その旨を患者に説明し、安全な治療を行ってください。
- プローブのヘッドを乱暴に扱うと、振動子特性に悪影響を与えることがあります。プローブのヘッドは丁寧に扱ってください。

10 治療の終了

治療の終了は以下の3種類があります。

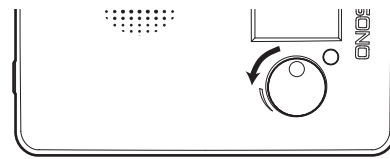
治療時間による自動終了

治療時間が経過すると出力は自動的に停止して終了音とともに治療が終了したことを知らせます。



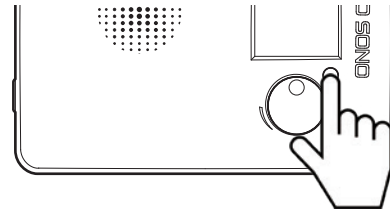
出力レベル調節つまみの操作による終了

治療中に出力レベル調節つまみを反時計回りへ回し続けると出力レベルが $0.0\text{W}/\text{cm}^2$ になり、終了音とともに治療が終了します。



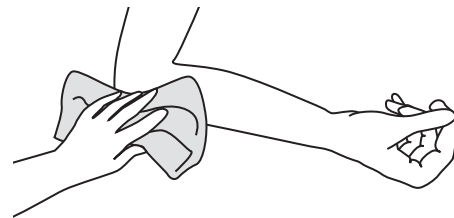
ストップスイッチの操作による終了

治療中にストップスイッチを押すと、ただちに出力が停止して終了音とともに治療が終了します。



11 治療後は超音波プローブや皮膚についたジェルを拭き取る

水を含ませよく絞ったやわらかい布で拭いてください。皮膚にジェルを付着したまま放置すると、かぶれなどの原因となります。



フィジオアクティブ HV との使用方法

本体および付属品は、一般的名称：低周波治療器，販売名：フィジオ アクティブ HV，
認証番号：227ALBZX00014000 を接続して、フィジオソノ超音波プローブ，フィジ
オソノ超音波プローブ（平型固定タイプ）から低周波刺激を与えることができます。

■配線について

接続の際はしっかりと奥まで差し込んでください。

本体と電源コード、AC アダプタを接続し、コンセントへ接続してください。

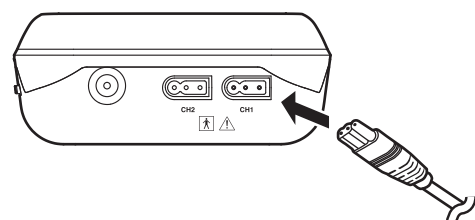
21ページ「電源配線について」参照

※フィジオアクティブ HV の電源コードおよび AC アダプタの接続方法はフィジオアク
ティブ HV の取扱説明書を参照してください。

1 フィジオアクティブHVと導子コードを接続

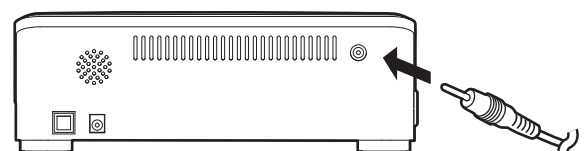
フィジオアクティブ HV の出力コネクタに
導子コード（フィジオアクティブ HV 付属
品）のプラグを接続します。

フィジオアクティブ HV
上面図



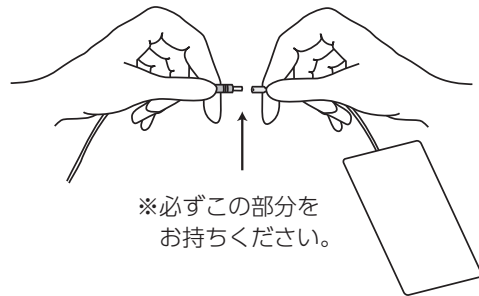
2 フィジオソノのTENS入力コネクタに導子コードを接続

フィジオソノの TENS 入力コネクタに導子
コードのピンを接続します。



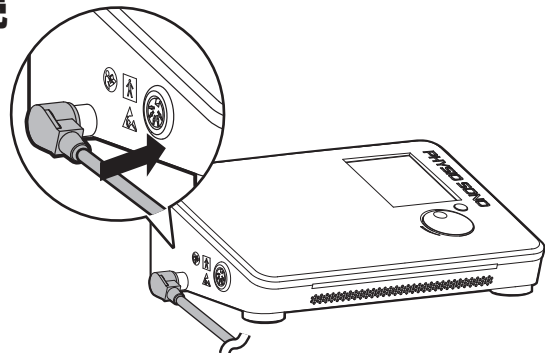
3 粘着パッドと導子コードを接続

粘着パッドと導子コードのピンを接続します。



4 フィジオソノにプローブを接続

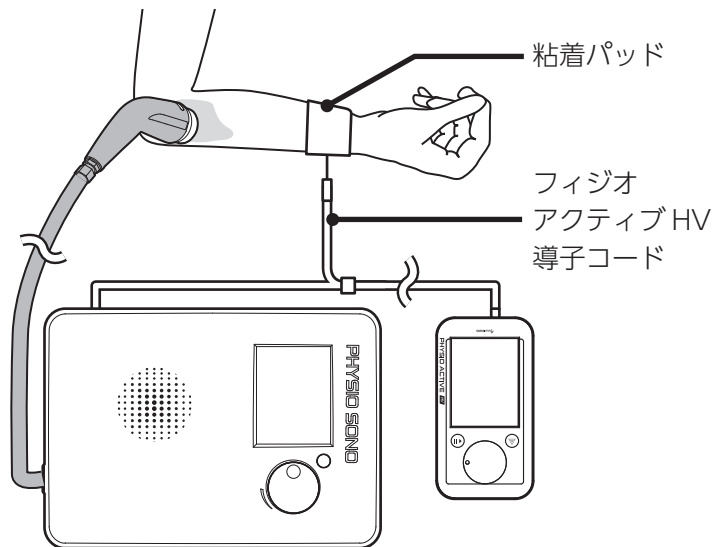
本体の超音波出力コネクタにプローブのコネクタを接続します。



■使用方法

フィジオアクティブ HV の出力レベル調節つまみにより低周波の出力を調節します。使用方法はフィジオアクティブ HV の取扱説明書を参照してください。

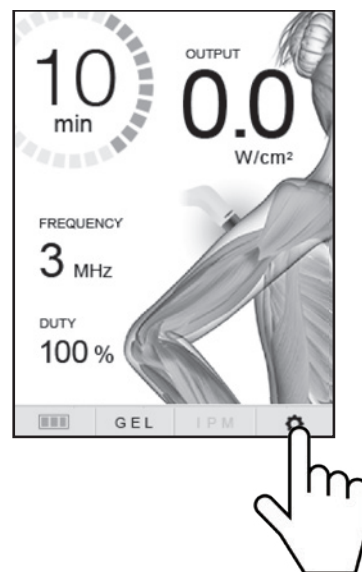
使用イメージ図



本体設定

本体設定画面

本体設定画面から本体の設定を行うことができます。通常画面の本体設定表示をタップしてください。



LCD輝度

液晶表示部の輝度を調節することができます。1、2、3、4から選択できます。数字が小さいほど画面が暗くなり、数字が大きいくほど画面が明るくなります。選択している輝度は青色表示します。



音量調節

本体から鳴る音の音量を調節することができます。×(無音)、1(小音量)、2(中音量)、3(大音量)から選択できます。

数字が小さいほど音量が小さくなり、数字が大きいくほど音量大きくなります。選択している音量は青色表示します。

操作音、治療音



終了音



音の種類やタイミング、調節できる音は以下のとおりです。

音の種類	説明	調節
電源投入音	電源を入れたときの音	操作音
電源切断音	電源を切ったときの音	操作音
正常操作音	正常に操作したときの音	操作音
解除音	選択を解除したときの音	操作音
誤操作音	誤操作を行ったときの音	操作音
調節つまみ操作音	出力レベル調節つまみを正常に操作したときの音	操作音
調節つまみ高速操作音	出力レベル調節つまみを高速で操作したときの音 (正常に操作したときより音が高くなります。)	操作音
治療音	出力中の音	治療音
終了音	出力が終了したときの音	終了音
異常停止音	異常停止したときの音	終了音
警告音	プローブ放置検出で出力を停止したときの音	終了音
接続音	超音波出力コネクタにプローブを接続したときの音	操作音
未接続音	超音波出力コネクタからプローブを抜いたときの音	操作音

出力単位

出力レベル表示の単位を選択します。

W/cm²、W から選択できます。

青い表示が設定中の出力単位です。

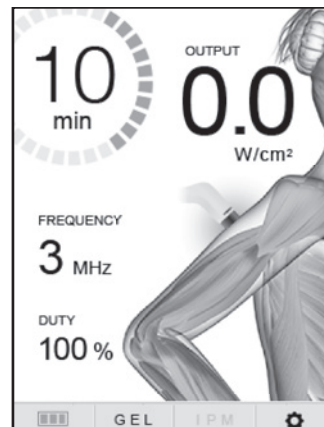


その他の機能

■安全装置

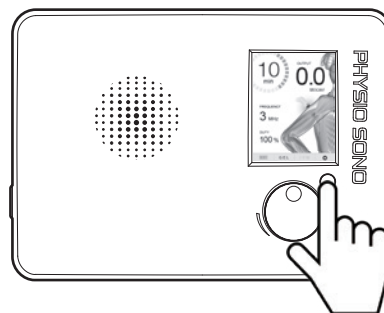
ゼロスタート方式

電源を入れたときは必ず出力レベルが「0.0」の状態
で起動する機能です。



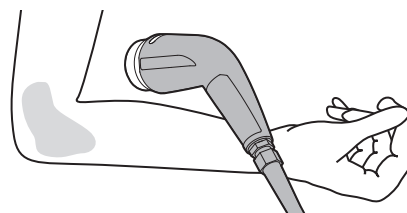
ストップスイッチ

治療中にストップスイッチを押すと、ただ
ちに出力が停止して終了音とともに治療が
終了する機能です。



プローブ非接触検出

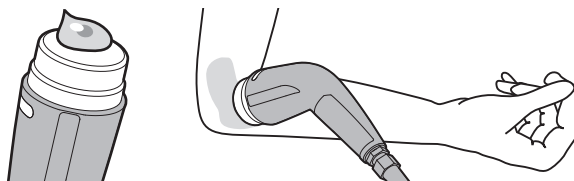
出力中にプローブのヘッド部分が治療部位
に接触していないときや、治療部位のジェ
ルが乾いているときにヘッド部分が高温に
なることを防止する機能です。



プローブのヘッド部分が治療部位に接触し
ていない状態を検出すると出力が低下し、
タイマのカウントダウンを停止します。



治療部位にジェルを多めに塗布して、再度プローブのヘッドを当ててください。
再度、治療部位に接触すると設定値まで出力が戻りますが、1分以上接触していない状態が続くと出力が停止します（プローブ放置検出）。

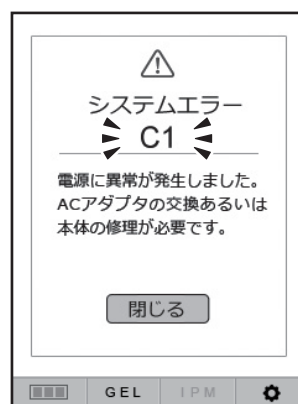


プローブ放置検出

出力中にプローブのヘッドが1分間以上肌に接触していないと警告音とともに出力を停止します。治療を続ける場合は、プローブのヘッドの温度が高くないことを確認してから出力レベル調節つまみを時計回りにまわして出力を開始してください。

■エラー(異常検出)

本体に発生したエラーを検知する機能です。発生したエラー内容をタイマー表示に表示します。エラーコードが表示された場合は、以下の処置を行ってください。

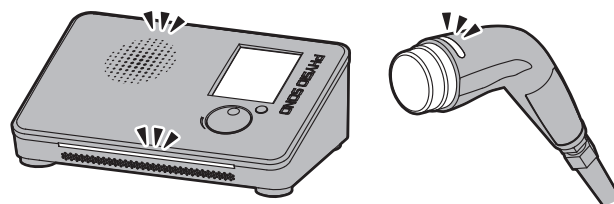


エラー表示	原因	処置
C1、C2	電源の異常	ACアダプタの交換あるいは本体の修理が必要です。
C3、C4、C7		本体の修理が必要です。
D1、D2、D3、D4、D10 C10、C11	本体の異常	本体の修理が必要です。
U1、U2、U3、U4、U5、 U6、U7、U8、U9	プローブまたは 本体の異常	一旦電源を切り、プローブを正しく接続し直したうえで、電源を入れてください。それでも直らない場合は本体の修理が必要です。

その他の機能 (続き)

■状態ランプ

本体の状態ランプおよびサブ状態ランプとプローブ状態ランプはランプの色によって本体の状態をお知らせします。ランプの色と状態は以下のとおりです。



名称	色	状態
メイン状態ランプ	黄	出力中、出力制限中(出力制限中はランプの輝度が下がる)
	青	充電中
サブ状態ランプ	赤	エラー(異常検出)中(U1~U9のエラーを検出した際は点灯、それ以外のエラーは点滅)
プローブ状態ランプ	黄	出力中

■記憶機能

本体は、前回の設定状態を記憶する機能を備えています。電源を入れると前回の設定状態で起動します。初回電源投入時の設定状態は以下のとおりです。

項目	設定値
タイマ	10分
周波数	1MHz
DUTY	100%
オートコンタクト	GELモード選択状態
LCD輝度	4
操作音	2 (中音量)
治療音	2 (中音量)
終了音	2 (中音量)
出力単位	W/cm ²

■オートパワーオフ

本体に電源コードおよび AC アダプタを接続していないときは、超音波を出力していない状態で 10 分間以上操作しないと、自動的に電源が切れます。

■LCD 輝度オートダウン

本体に電源コードおよび AC アダプタを接続していないときは、20 秒間以上操作しないと、自動的に LCD 輝度を下げます。操作を再開すると元の LCD 輝度に戻ります。

手入れと管理

■清掃方法

本体や付属品は、変色および劣化などの原因となりますので常に清潔にしてください。
本体やプローブを使用した後は、水を含ませよく絞ったやわらかい布で拭いてください。

■日常点検

治療前、治療後に確認してください。異常を発見した場合は使用せずに販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。

本体の確認

- 本体に異常がないかを確認してください。
- 通風孔にほこりなどがたまっていないかを確認してください。ほこりなどが付着、堆積している場合は取り除いてください。
- 液晶表示部に異常がないかを確認してください。
- メイン状態ランプ、サブ状態ランプに異常がないかを確認してください。

付属品の確認

- 付属品に異常がないかを確認してください。
- プローブのヘッドに割れなどがいないかを確認してください。
- プローブのコード、コネクタに異常がないかを確認してください。
- プローブ状態ランプに異常がないかを確認してください。

接続部の確認

- 電源コード、ACアダプタおよびプローブを正しく接続しているかを確認してください。
- 電源コードとコンセントの隙間にほこりなどがたまっていないかを確認してください。ほこりなどが付着、堆積している場合は取り除いてください。

電源入力時の確認

- 電源スイッチを押して正常に機能するかを確認してください。
- 電源を入れたとき、機能や表示に異常がないことを確認してください。
- 電源を入れたとき、出力表示が「0.0W/cm²」と表示されるかを確認してください。
- 本体から正常に音が鳴るかを確認してください。

出力時の確認

- タッチパネルを操作して正常に機能するかを確認してください。
- 出力レベル調節ツマミを回して正常に機能するかを確認してください。
- 出力中にストップボタンを押して出力が停止するかを確認してください。
- プローブのヘッドに水をのせ、超音波の出力によって水が噴き上がることを確認してください。

■定期点検

年1回、販売業者、貸与業者または製造販売業者に保守点検を依頼してください。

■保管場所、方法

- 水のかからない場所に保管してください。
- ほこりがたまりにくい場所に保管してください。
- 直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 塩分やイオウ分などを含んだ空気がある場所を避けて保管してください。
- 傾斜、振動のある場所を避けて保管してください。
- 他の機器との接触に十分注意して保管してください。
- 化学薬品やガスの発生する恐れのない場所に保管してください。
- 以下の環境条件に適した場所に保管してください。

ジェル 温度：10~40℃、湿度：30~75%rh

■輸送方法

- 輸送の際は、破損しないよう本治療器をお届けした際の梱包材にて梱包してください。
- 梱包材に記載されている図記号は、天地無用、取扱注意、水濡禁止、直射日光遮へい、温度制限（図に表示されている温度の範囲内で保管することへの注意）を表しています。輸送時にはこれらの条件を十分満たすよう注意してください。
- 輸送の際は、保管時と同等の環境条件に適する場所に配置してください。

■本体の使用の期限、廃棄方法

指定の保守・点検並びに消耗品の交換を実施した場合：6年


本体を廃棄する際は、販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。

付属品を廃棄する際は、各自治体の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

故障かな？と思ったら

作動不良などが起こった場合、まず以下の点をよくご確認ください。

それでも正常に作動しない場合は、販売業者、貸与業者または製造販売業者に連絡してください。

こんなとき	対応のしかた
電源が入らない。	<p>本体の DC ジャック、AC アダプタ、電源コードまたはコンセントの接続は外れたり、抜けかかったりしていないかを確認してください。</p> <p>▶ 21ページ「設置および配線」参照</p>
音が鳴らない。	<p>電池残量を確認して、充電を行ってください。</p> <p>24ページ「バッテリーでの使用」参照</p> <p>▶ 操作音、治療音の音量を 0 にすると、音は鳴りません。操作音、治療音の音量を上げてください。</p> <p>35ページ「音量調節」参照</p>
出力レベル調節ツマミを回しても超音波が出力されない。	<p>プローブおよびコード類に異常がないかを確認してください。</p> <p>プローブのコードが超音波出力コネクタから外れていないか確認してください。</p> <p>21ページ「設置および配線」参照</p> <p>▶ 電池残量を確認して、充電を行ってください。</p> <p>24ページ「バッテリーでの使用」参照</p> <p>プローブ状態の確認を正しく行ったかを確認してください。</p> <p>25ページ「プローブの状態確認」参照</p> <p>治療部位のジェルが乾いていないか確認してください。</p> <p>37ページ「プローブ非接触検出」参照</p>

こんなとき	対応のしかた
<p>プローブ状態の確認中から表示が変わらない。</p>	<p>電池残量を確認して、充電を行ってください。 24ページ「バッテリーでの使用」参照 充電がなくなり、電池表示が点滅している場合はプローブ状態を確認できません。</p>
<p>出力中にタイマが停止する。</p>	<p>プローブのヘッドが治療部位に接触しているか確認してください。 37ページ「プローブ非接触検出」参照</p>
<p>プローブのヘッド部分が高温になる。</p>	<p>出力中にプローブを空中に放置したままにすると、ヘッド部分が高温になることがあります。出力中は、プローブを放置しないでください。</p>

EMC について

本治療器は、EMC（電磁両立性）に関して注意する必要があり、取扱説明書で提供する EMC に関する情報に従って設置および使用する必要があります。

携帯形および移動形の RF 通信機器は、本治療器に影響を与えることがあります。

本治療器は P.11 に記載した付属品を使用して EMC の規定に適合しています。指定以外の付属品やケーブル類を使用すると、本治療器のエミッションの増加またはイミュニティの低下を招くことがあります。

本治療器は、他の機器と近接または積み重ねて使用しないでください。近接または積み重ねが必要な場合は、本治療器および他の機器が正常に作動することを確認してください。

ガイダンスおよび製造業者による宣言－電磁エミッション

本治療器は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。本治療器の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

エミッション試験	適合性	電磁環境－ガイダンス
RF エミッション CISPR11	グループ 1	本治療器は、内部機能のためだけに RF エネルギーを用いている。したがって、その RF エミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は、少ない。
RF エミッション CISPR11	クラス B	本治療器は、住宅環境および住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含む全ての施設での使用に適している。
高調波エミッション IEC61000-3-2	非適用	
電圧変動／ フリッカエミッション IEC61000-3-3	非適用	

ガイドンスおよび製造業者による宣言－電磁イミュニティ

本治療器は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。本治療器の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	JIS T 0601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境 — ガイドンス
静電気放電 (ESD) JIS C 61000-4-2	±6kV 接触 ±8kV 気中	±6kV 接触 ±8kV 気中	床は木材、コンクリートまたは、セラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも 30% であることが望ましい。
電氣的ファスト トランジェント/ バースト JIS C 61000-4-4	±2kV 電源ライン	±2kV 電源ライン	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。
サージ JIS C 61000-4-5	±1kV ライン－ライン間 ±2kV ライン－接地間	±1kV ライン－ライン間 ±2kV ライン－接地間	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。
電圧電源入力 ラインにおける 電圧ディップ、 短時間停電および 電圧変化 JIS C 61000-4-11	<5% U _T (>95% U _T のディップ) 0.5 サイクル間 40% U _T (60% U _T のディップ) 5 サイクル間 70% U _T (30% の U _T の低下) <5% U _T (>95% U _T の低下) 5 秒間	<5% U _T (>95% U _T のディップ) 0.5 サイクル間 40% U _T (60% U _T のディップ) 5 サイクル間 70% U _T (30% の U _T の低下) <5% U _T (>95% U _T の低下) 5 秒間	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。本治療器の使用者が、電源の停電中にも連続した稼動を要求する場合には、本治療器を無停電電源または電池から電力供給することを推奨する。
電源周波数 (50/60Hz) 磁界 JIS C 61000-4-8	3A/m	3A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を持つことが望ましい。

注記 U_Tは、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

EMC について (続き)

ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁免疫

本治療器は、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。本治療器の顧客または使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

免疫試験	JIS T 0601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境 — ガイダンス
伝導 RF JIS C 61000-4-6	3Vrms 150kHz~80MHz	3Vrms	携帯形および移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む、本治療器のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離よりも近づけて使用しないことが望ましい。 推奨分離距離 $d=1.2\sqrt{P}$
放射 RF JIS C 61000-4-3	3V/m 80MHz~2.5GHz	3V/m	$d=1.2\sqrt{P}$ 80MHz~800MHz $d=2.3\sqrt{P}$ 800MHz~2.5GHz ここで、P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、d は、メートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査 ^{注a)} によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲 ^{注b)} における適合性レベルよりも低いことが望ましい。 次の記号を表示している機器の近傍では干渉が生じるかもしれない。 

注記 1 80MHz および 800MHz においては、高い周波数範囲を適用する。

注記 2 これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。

注 a) 例えば、無線 (携帯/コードレス) 電話および陸上移動形無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送および TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に理論的に予測をすることはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮することが望ましい。本治療器を使用する場所において測定した電界強度が上記の適用する RF 適合性レベルを超える場合は、本治療器が正常動作するかを検証するために監視することが望ましい。異常動作を確認した場合には、本治療器の、再配置または再接地のような追加対策が必要になるかもしれない。

注 b) 周波数範囲 150kHz ~ 80MHz を通して、電界強度は、3V/m 未満であることが望ましい。

携帯形および移動形RF通信機器と本治療器との間の推奨分離距離

本治療器は、放射 RF 妨害を管理している電磁環境内での使用を意図している。本治療器の顧客または使用者は、送信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形および移動形 RF 通信機器（送信機）と本治療器との間の最小距離を維持することで、電磁妨害を抑制するのに役立つ。

送信機の最大定格出力電力(W)	送信機の周波数に基づく分距離(m)		
	150kHz~80MHz $d=1.2\sqrt{P}$	80MHz~800MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800MHz~2.5GHz $d=2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストしていない最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで、 P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力である。

注記 1 80MHz および 800MHz においては、分離距離は、高い周波数範囲を適用する。

注記 2 これらの指針は、全ての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は、電磁波の伝搬に影響する。

静電気予防手順



警告

関係する全てのスタッフが、ESD 警告記号の説明および静電気予防手順についての訓練を受けるようにしてください。

2つの物体の接触、摩擦、剥離および静電誘導などの理由により、電荷の分離が起こり、静電気が発生します。人が動くだけでも数百V～数千Vの静電気が帯電し、特に低湿度環境では数千V～数万Vの静電気が帯電します。

人体が帯電した状態で ESD 警告記号のあるコネクタピンに触れると、静電気放電によって機器内部の電子部品に高い電圧の電流が流れ、電子部品の絶縁破壊および故障が発生する恐れがあります。そのため、下記手段により静電気を放電した後にコネクタの接続を行なうようにしてください。

- 筐体金属部や、蛇口などアースされた金属に触れて帯電した静電気を放電する。
- コード付きリストストラップなど、静電気予防品を使用し、帯電を予防する。

保証書

製品名	フィジオ ソノ	
型式	P-SONO	
製造番号	81	N
お客様名	フリガナ	
電話番号		
お客様ご住所	(〒 ー) 都道府県	
販売店名	(〒 ー)	
ご購入日	年 月 日	
保証期間	ご購入日から1年間	

保証規定

- ご購入年月日から1年間といたします。
- 本治療器を構成する部分に発生した製造上の不具合のため、本治療器のご使用に差支えが生じ、弊社がそのことを確認したときは、無料で当該部品をお取り換え、または調整をいたします。
- 修理の場合は、必ず本証をご掲示ください。
- 本証は再発行いたしませんので、ご購入後は必要事項をお書込みの上、大切に保管してください。
- 本証は日本国内のみ有効です。 Effective Only Japan
- 保障期間内であっても次のような場合は有償修理となります。
 - 使用上の誤り(取扱説明書記載以外の使用)による故障または損傷
 - 本証のご掲示がない場合
 - 不当な修理や改造による故障または損傷
 - 本証にご購入年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 目的以外に使用された場合の故障または損傷
 - 変質・変色・その他類似の事由
 - お買い上げ後の輸送、落下等による故障または損傷
 - 消耗部品(本体以外の同梱品)の交換
 - 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障または損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷
- 「転居」などでご購入販売店での修理が受けられない場合は、下記製造販売業者・製造業者へご連絡ください。
(保障期間内、お電話でご相談の上、着払いにて商品をお送りください。)
- 販売店印、購入年月日の記載がない場合は領収書をご提示ください。
※保証書にご記入頂いた個人情報は、本治療器に関するご案内のみに使用させていただきます。

販売業者

酒井医療株式会社

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-6
<http://www.sakaimed.co.jp>

製造販売業者・製造業者

株式会社テクノリンク

〒956-0804 新潟県新潟市秋葉区荻島2-30-15

お問合せ (午前9:00～午後5:00)

平日のお問合せ：下記の最寄りの営業所まで

札幌営業所 (北海道)	Tel: 011-780-5570
盛岡営業所 (青森・秋田・岩手)	Tel: 019-656-5336
仙台営業所 (宮城・山形・福島)	Tel: 022-390-6840
新潟営業所 (新潟)	Tel: 025-278-4777
長野営業所 (山梨・長野)	Tel: 0263-40-5014
埼玉営業所 (埼玉・群馬・栃木)	Tel: 048-662-4560
千葉営業所 (千葉・茨城)	Tel: 047-497-3691
東京営業所 (東京)	Tel: 03-5227-5779
(フィジオ)	Tel: 03-5227-5776
横浜営業所 (神奈川・静岡)	Tel: 045-590-5485
中部第1営業所 (愛知)	Tel: 052-263-9867
中部第2営業所 (岐阜・三重)	Tel: 052-263-9867
金沢営業所 (石川・富山・福井)	Tel: 076-292-1161
関西第1営業所 (京都・滋賀・奈良・和歌山)	Tel: 06-6386-3545
関西第2営業所 (大阪)	Tel: 06-6386-3545
神戸営業所 (兵庫・鳥取・島根)	Tel: 078-579-6236
広島営業所 (広島・岡山・山口)	Tel: 082-830-0420
高松営業所 (香川・徳島・愛媛・高知)	Tel: 087-865-0715
福岡営業所 (福岡・長崎・大分・佐賀・熊本・沖縄)	Tel: 092-588-9331
鹿児島営業所 (鹿児島・宮崎)	Tel: 099-252-5251

休日のお問合せ：サポートセンター 0120-161-288